

基本情報

- ◆ 認定年度: 2019(令和元)年
 - ◆ 設置時期: 2019(令和元)年9月
 - ◆ 実施部局: 化学研究所
 - ◆ 相手方機関: 復旦大学 (中国)
 - ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
 - ◆ 設置目的: 化学分野最先端研究の共同実施、化学分野人材交流の促進
 - ◆ 設置場所: 復旦大学 (中国・上海)
 - ◆ 活動内容: 化学分野の最先端研究を推進し、国際共同研究・共同利用の拡大や現地研究機関との連携強化を図る。
- 

ICR
Institute for Chemical Research



活動による大学全体への波及効果

- 国際共同利用・共同研究拠点としての活動推進
- 研究資源・設備の共有による研究の効率化
- 化学分野でのトップ学生リクルート

【2024年度】

- 復旦大学から13名の教職員を京都大学へ招聘し、京都大学化学研究所にて「第4回Shanghai-Kyoto Chemistry Forum」を開催した。両大学から各10名の教員が新材料、エネルギー変換、ケミカルバイオロジー分野の最新の研究成果について講演した。
- 上海交通大学の学部生(特進)3名をiCeMSにて1か月受け入れ。

活動概要

- ◆ 先端的な化学の共同研究(多孔性材料などの新材料、エネルギー変換、ケミカルバイオロジーなど)
- ◆ 復旦大学・上海交通大学・上海科技大学の最先端研究機器、京大の機器を相互共同利用
- ◆ 中国科学院国家化合物ライブラリー(200万化合物)共同利用
- ◆ 京都大学の反転講義活用、中国トップ校からの留学生誘致
- ◆ 客員教授招へいによる研究費獲得や若手研究者交流の促進

- *外部資金への積極的な応募
- *進出企業との共同研究



自走運営の資金確保へ

既存の化学研究所オフィス

復旦大 張江校區



(後)兼任准教授(Lu復旦大学薬学院教授)
(左)専任秘書

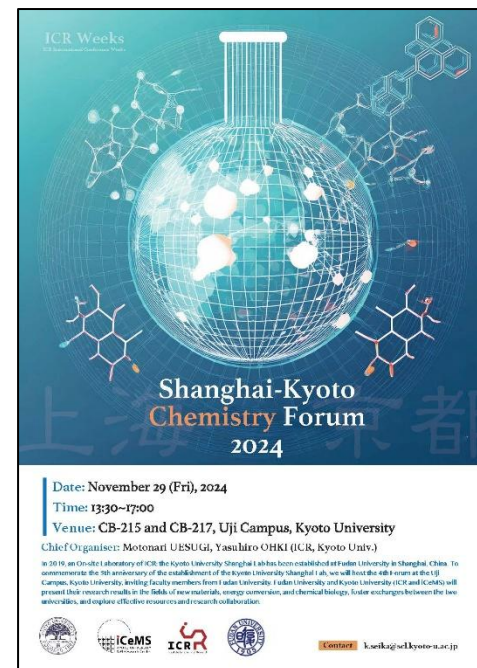


2024年11月 Shanghai-Kyoto
Chemistry Forum開催(京都)

2024年度の主な活動実績

① The 4th Shanghai-Kyoto Chemistry Forum 2024の開催

令和6年11月まで、中国渡航に関して日本人に対するビザ免除措置が停止され、ビザの申請には時間と手続きを要した。そのため、令和6年度は京都から上海への渡航を少なくし、上海から京都への渡航を中心とした活動を行った。復旦大学から13名の教職員を京都大学へ招聘し、京都大学化学研究所にて「第4回Shanghai-Kyoto Chemistry Forum」を開催した。復旦大学の教授9名、化学研究所の教授・准教授10名が新材料、エネルギー変換、ケミカルバイオロジ分野の最新の研究成果や学術的な洞察について講演した。発表内容に対する活発な質疑応答があり、さらに分野・領域を超えた共同研究課題についての意見交換も行われた。



② 次世代育成プログラム

- ・上海交通大学から選抜された学部生（特進）3名を令和6年度に京都大学iCeMSにて受け入れ、1か月のインターンシップを行った。今後も提携して継続することとなった。
- ・上海の同済大学と京都大学が2024年8月27日・28日にTongji-iCeMS International Graduate Symposiumを開催した。主に同済大学とiCeMSの若手研究者や学生が次世代材料について議論した。

<https://www.icems.kyoto-u.ac.jp/event/9888/>

